

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和 8年度
 部局名 未来創造部
 所属名 新幹線政策連携室

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
政策立案のためのデータ分析・調査研究事業	17 「チームふくい」の行政運営	政策的経費	令和7年度	令和9年度	2,646		1,323		1,323	縮減
プレイヤーや投資等の拡大に向けた情報発信事業	9 新幹線効果を最大化・持続化	政策的経費	令和6年度	令和9年度	6,716				6,716	継続
					9,362		1,323		8,039	

		未来創造部	新幹線政策連携室	事業年度	令和 8年度
5 とともに進める（総合力）				経費区分	政策的経費
17 「チームふくい」の行政運営				事業開始年度	令和7年度
政策立案のためのデータ分析・調査研究事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	政策立案検討のため、大学と連携して、ビッグデータの活用等により新幹線開業効果を分析				
事業内容	客観的指標等を基にした開業効果の分析				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,646		1,323		1,323
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	施策への反映（県・市町）	18	-	令和9年度
	活動指標	分析結果の評価（件）	1	1	令和7年度
事業評価	アンケート等の主観的指標やビッグデータを活用した客観的な指標をもとに新幹線開業前後の人流導線や消費動向について分析し、開業効果の“見える化”につなげた <ul style="list-style-type: none"> ・人流分析：金沢大学との共同研究 ・消費動向：データ分析の専門事業者との委託事業 ・分析結果を報告書にまとめ産官学に意見照会中のため、内容を改めて精査し公表予定 他の開業効果分析・経済波及効果等とも整合を図りつつ、経過をみながら分析を継続していくため事業者へのヒアリングなど現場の声も反映させることが重要であるため単年度ごとの目標・実績を設定しない				
区分	縮減				

	未来創造部	新幹線政策連携室	事業年度	令和 8年度	
3	楽しみを広げる（創造力）		経費区分	政策的経費	
9	新幹線効果を最大化・持続化		事業開始年度	令和6年度	
	プレイヤーや投資等の拡大に向けた情報発信事業		事業終了年度	令和9年度	
事業目的	魅力的な地域づくりに取り組む市町の情報を開業効果の分析・評価結果等とあわせて発信することにより、県内外で活躍するプレイヤーの呼び込みや投資等の拡大を促進				
事業内容	県内外で活躍するプレイヤー発掘、市町や地域と橋渡し ・県内で活躍するプレイヤーの発掘、セミナーの開催 ・「エリア・人材マッチングコーディネーター」の配置				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,716				6,716
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	プレイヤーの誘致（人）	4	-	令和9年度
	活動指標	セミナー開催（回数）	1	1	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊（エリア・人材マッチングコーディネーター）を1名採用(R7.9～) ・首都圏人材を対象に二拠点・多拠点等、移動多めで活躍するプレイヤーを講師としたセミナーをR7年12月に東京で開催 プレイヤーを誘致するには、プロジェクトなどで関係性を構築し、マネタイズも含め地域で生活できる基盤まで見えることも必要であるため、単年度ごとの目標・実績は設定しない				
区分	継続				